

第79回九都県市首脳会議の結果概要

令和3年4月21日
九都県市首脳会議

1 意見交換に係る合意事項等

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する情報共有等について

九都県市における新型コロナウイルス感染症の現状や各都県市における取組などについて情報共有を行い、今後も九都県市で連携していくことを確認した。

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する座長提案について

感染力の強い変異株が増加し、1都3県では再び感染の急拡大が懸念される中、引き続き、感染状況や公衆衛生体制・医療提供体制への負荷の状況について、十分に把握・分析を行いつつ、強い危機感を持って取組の強化を図るため、特に重要な事項について、九都県市としての意見を取りまとめ、**別紙1**のとおり、国に対して要望を行うこととした。

また、大型連休に向けて感染防止対策の徹底を呼び掛けるため、九都県市として**別紙2**のとおり、メッセージを発出した。

2 首脳提案

以下の8提案について、各首脳より提案があり、書面協議を実施することとした。

- (1) 電動車のさらなる普及に向けた環境整備の推進について
- (2) オフィスなどの相互利用について
- (3) 風害対策及び大規模停電対策の充実強化について
- (4) 動物の不適正な多頭飼育の対策の推進について
- (5) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等への居住費及び食費の負担軽減について
- (6) 文化芸術の持続可能性を高める支援について
- (7) 児童相談所等の更なる体制強化について
- (8) 地域材利用による森林の循環利用について

3 協議に係る合意事項

(1) 地方分権改革の推進に向けた取組について

今後の地方分権改革が、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するという基本理念を貫徹し、真の分権型社会の実現に向けて確実に推進されるよう、九都県市としての意見を取りまとめ、**別紙3**のとおり、国に対して要求を行うこととした。

4 報告事項

(1) 首脳会議で提案された諸問題等に関する検討状況について

ア 感震ブレーカーの普及に向けた取組について

感震ブレーカーの普及に向けた、各都県市の取組や課題等を共有するとともに、普及をより一層促進させるための九都県市における一体的な取組などについて検討を行った。

引き続き、各都県市において地域実情に合わせて普及に向けた取組を進め、必要に応じて九都県市で情報共有を行うなど、連携を図っていく。

イ 認知症施策の推進にかかる成年後見制度等の利用促進に向けた取組について

成年後見制度等の利用を促進するため、九都県市共通ロゴマークを作成して効果的に普及啓発を行うほか、自治体間で情報共有を行うこととした。

今後、決定した共通ロゴマークの使用や一斉広報月間における周知啓発、自治体における先進事例の共有、担当者意見交換に取り組む。

ウ 大気環境の更なる改善に向けた対策の推進について

大気中で二次生成され、都県域を越えて移流する光化学オキシダント及びPM_{2.5}の低減に向けた原因物質の削減対策や自動車排出ガス対策について、国に要望する。

エ 水素社会の実現に向けた取組について

国が策定した「水素・燃料電池戦略ロードマップ」や「水素基本戦略」等を踏まえ、水素エネルギー関連事業者と情報交換を行った。

引き続き、九都県市で連携した取組の実施に向けて、具体的な内容の検討・調整を行う。

オ 風しん撲滅に向けた九都県市共同での取組について

先天性風しん症候群の理解と予防について広く周知するとともに、国の「風しんに関する追加的対策」の対象者である風しん抗体保有率の低い世代の男性を中心に感染拡大防止等の啓発を引き続き進めていく。

カ ヒートアイランド対策について

ヒートアイランド対策の啓発強化を目的として、打ち水や日傘利用を推進するイベントを行ったほか、打ち水や日傘の効果についてSNS等の広報媒体を活用した情報発信を行った。

引き続き、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、九都県市で連携した取組を検討・実施していく。

5 次回は、令和3年秋、千葉市において開催する。